



歴史ステーションで “鉄道博物館の木製資料”ミニ展示開催

- 鉄道博物館では、大きな実物車両から小さな切符まで、約67万点もの様々な資料を収蔵しています。「鉄」道というだけあって、鉄をはじめとした金属を素材としたものが多いのですが、そのほかにも様々な素材でできた資料があります。
- 歴史ステーションのミニ展示では、これまで「石」や「やきもの」といった素材に着目した展示を行いました。今回は「木」でできた資料を集めてみました。
- この展示をきっかけに、館内に展示されている資料の素材に注目し、その変遷をたどってみるのも楽しい見学になるでしょう。この機会にぜひご覧ください。

1. 展示期間 2019年7月1日（月）～8月4日（日） 予定
2. 展示場所 新館（南館） 3階 歴史ステーション中央 時計ひろば
3. おもな展示資料
木製ヘッドマーク、乗車口表示板、出札用印箱、車両用網棚、
SL用ナンバープレート、銘板用木型、風洞実験用模型 など



写真2点：展示品の一例